

一人ひとりの夢・思いを大切に

福祉 しなふくニュース

編集人 しなふくニュース編集委員会 発行人 永田 元
 発行所 品川総合福祉センター 〒140-0003 東京都品川区八潮5-1-1
 電話 03(3790)4839 法人URL <http://www.shinafuku.com> E-mail info@shinafuku.org



令和4年度4月運営スタート

らうんじ

道端ではタンポポの笑顔に出会える季節となりました。そんな穏やかな季節ですが、だれもが心に忘れられない思い出をもつのが四月ではないでしょうか。今年度も新人職員を迎えようと共に、品川区立八潮北保育園の運営がスタートします。毎年めぐってくる四月は同じでも少しずつ変化が訪れます。

日々の生活の中で新しいことに挑戦するもよし、これまでの自分を鼓舞して更にステップアップを誓うのも素晴らしいですね。また、情性になつてしまつていふことを見直すチャンスかもしれません。春の区切りを生かして、ひと味違う期待、喜びや不安など、新たに心に残る思い出の四月を作つてみてはいかがでしょうか。

新型コロナウイルス感染症という言いようのない不安に覆われ、まだまだ自由に動き回ることができない春ですが、一年に一度だけ、自然から贈られる華やぎの時を穏やかな心で満喫し、どんな状況でも先を明るく、新たな一歩を踏み出しましょう！

八潮北保育園
園長 細根 真紀

令和四年度 基本方針・運営方針

一、基本方針

今年度は法人設立四十周年の前年になる年であり、三十九周年「未来創造図」を振り返り中長期計画の課題整理と具体的な取組みを検討し、さらなる発展につなげていきます。二、重要課題

①法人の現状分析から令和五年度を起点とする新しい十年計画を職員全体が参加する形で進めます。

中期経営計画について、未達成の課題を整理し、引き続き具体策を講じていきます。

収支改善について、各事業の収支状況を把握し、稼働率向上、

人件費

関連費

用、事

務費な

どのコ

スト削



八潮北保育園から届いた餅花を持って「ありがとう」

減対策を講じます。

利用者の人権への配慮、職員の専門性を高め人権意識・倫理観の醸成を進め、虐待を防止します。

働き方改革基本方針を本格実施し、ワークライフバランスを考慮した働きやすい職場を作っていきます。また、職員育成として特に中堅職員、リーダー層の育成に努めます。

②八潮北保育園の運営移管に伴い、施設運営を軌道に乗せます。

③八潮中央保育園の全面改修を区と協議し、進めます。

④区の八潮南特別養護老人ホーム増築計画に協力し、計画案の検討作成に取組みます。

⑤障害系事業所利用者の障害重度化と高齢化問題に対応し、支援方法やプログラムの検討、医療ケアの推進を図ります。

⑥各事業所で地域の福祉ニ

ズ、利用者ニーズに対応したプログラムを検討実施します。

⑦ICT技術導入について、八潮南特別養護老人ホームの実践等を情報共有し、各施設

の導入検討を進めます。

⑧新型コロナウイルス感染症防止に関わる情報を収集し、適切な感染防止対策を進めます。

⑨法人設立四十周年に向け記念行事の検討準備を進めます。

三、実施方針
①経営基盤の安定化
良質なサービスを多くの利用者



9月アルツハイマー月間を盛り上げよう！

経営理念に基づき社会福祉法人の責務を果たすために関連法の遵守、業務管理の適正化を進めます。

③利用者サービスの向上
利用者の自己決定を重んじ、個人の尊厳に配慮した良質なサービス提供に努め、職員の利用者に対する不適切な言動を根絶します。

④職員育成、職場環境改善
優良人材の採用に向け、効果的な採用活動を進めます。職員の健康意識を高め、安全で健康的な職場環境を整備します。適切な人事・労務管理を行い人材の定着を図ります。

⑤地域社会への貢献
地域の福祉ニーズを把握し、行政関係機関との連携の中で、地域福祉の推進を図ります。また、施設の地域開放を進め地域福祉、社会貢献活動を検討実施します。

八潮北保育園 開所



幼児 3歳のお部屋

令和四年度を迎え、品川総合福祉センターに「品川区立八潮北保育園」が仲間入りしました。百二名（生後五十七日以降から就学前まで）のお子様をお預かりし、新たな保育を展開していきます。品川区立八潮北保育園の伝統を引継ぎ、八潮中央保育園で培った保育をうまく融合させ、皆様に安心していただける保育園になるようにと進めていきます。



広々とした園庭
思いっきり遊べます

昨年度は引継ぎ保育という事で、北保育園の行事を始め、お子様との関係、保護者との関係の構築に努め、十二月からはクラス担任となる職員を配置し、さらなる信頼関係を築いてきました。

不安と期待の入り混じるこの時期を乗り越え、笑顔の絶えない保育園になる事を願っています。そして、この恵まれた八潮の自然の中で、百二名の子ども達と元気一杯に走り回って、品川総合福祉セン

八潮北保育園のめざす子ども像

- 明るくのびのびとした子ども
- 感性豊かな子ども
- 自分で考えて行動する子ども

ターに元気な声を届けていきたいと思います。よろしくお願ひします！



明るく広い玄関。園全体が木の温かさに包まれています



乳児 2歳のお部屋



園庭は一面、人工芝で1年中 青々としています！

心のつながり 地域とともに 2021

法人が大切にしている事業に、地域交流&地域貢献があります。その中で、例年行っている「しなふる紅葉フェスタ」が、新型コロナウイルス感染拡大のため中止となっています。

そこで、法人は地域とともに38年余、お互いに困難な状況にある中でも、地域とのつながりを引き続き大切にしたと思います。「心をひとつに、今を共に乗り越えよう」と題し、地域区民や地域の関係機関の皆さんとのメッセージ交換を企画しました。

昨年十月に、

心が温まるメッセージの数々に、ご利用者も励まされ、職員も改めて地域の皆さんとの絆を感じることができました。

品福は今後も地域の皆様とのつながりを大切にしていきます。



1階ロビーに設置されたパネル

法人全事業所の利用者&施設から、八潮地区の自治会の皆さん、交番、消防署・学校・保育園等へメッセージをお届けしました。そして十一月、地域の皆さんからご利用者宛てに、お返事のメッセージをいただきました。



壁画のステンドシルは、さつきの松島亜希子さん作です



横断幕を掲げ、地域の皆さんへのメッセージを送りました



地域の代表として、八潮連合自治会丹治会長と理事の皆さん



風除室全面のメッセージ。夜はイルミネーションで輝きました

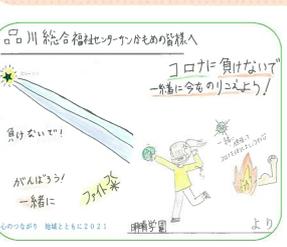
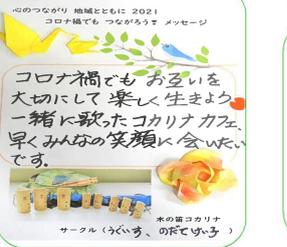




地域の皆様からいただいたメッセージ（その一部をご紹介します）



～心をひとつに
今を共に
乗り越えよう～



温かいメッセージを、皆様、ありがとうございました。





食生活から活かすための4点をおすすめです。

「肺」に属し、肺が邪気の影響を受けるため、その症状が鼻に出ていると考えます。身を守るために「肺」の「気」を高めておくことが大切です。

花粉症と薬膳

- ① 「肺」の気を高める食品を食べる（しそ・緑茶・きのこ類など）
- ② 発作が繰り返されるときは発散するものを食べる（葛・ねぎ・生姜など）
- ③ 激辛のもの、甘いもの、アルコールなどの刺激物を控える。
- ④ 消化がよくあつさりしたもの（和食中心）を食べる。

豆知識

ていくことができます。もちろん、これ以外に「抗原」（花粉など）はちゃんと避ける努力はしましょう。また、春野菜が美味しい季節です。旬の食材を食べ、夏を乗り切れる体を作りましょう。

しなふるの窓

このコーナーは品川総合福祉センターで、普段は目に留まりにくい「素敵なもの」を紹介するコーナーです。今回は、八潮南特別養護老人ホームの壁画飾りをご紹介します。カレンダーを見ながら「今日は何日かしら？」と言われた利用者の一言から、施設での日々の中で、季節感を感じていただこうと考え、どなたにも思い出深いお雛様をつくりました。お食事を介助させて頂く時やリラックスされている時等、お雛様をご覧になって、ご自身の子供の頃やお子さんやお孫さんとの楽しかった時間を感じていただけ、利用者の沢山の笑顔を見る事が出来ました。



中延特別養護老人ホーム 二度目の最優秀賞 受賞！

令和四年二月四日に品川介護福祉専門学校主催による「令和三年度品川福祉保健従事者実践・研究発表会」が開催されました。当法人からは中延特別養護老人ホームが『利用者への望む生活とは』一斉一律の介助からの脱却を『発表し二度目となる最優秀賞に輝きました』と発表しました。今後も、本人の「できる力」と「選ぶ事」を大切にしながらチームで考えていき「挑み続ける中延特養」でありたいと思います。